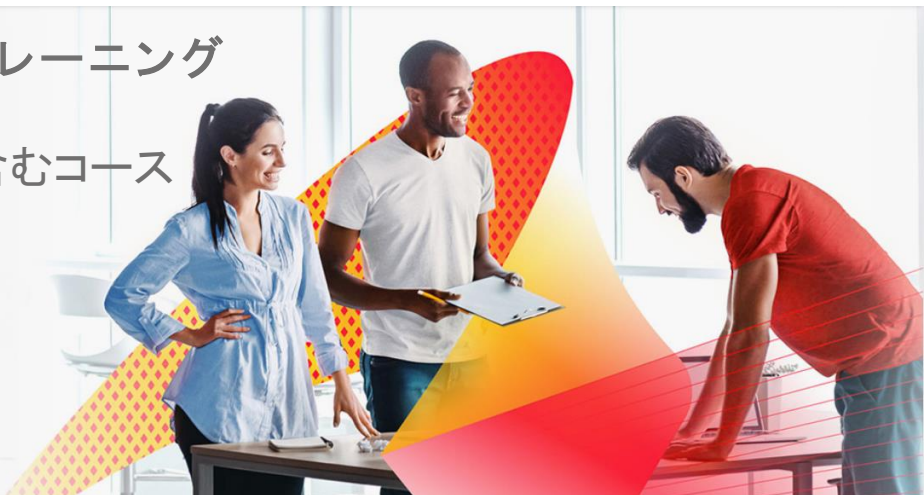


ABBYY FlexiCapture Basicトレーニング (3日間または4日間)

ABBYY FlexiLayout Studio を含むコース



ABBYYトレーニングは講義と実地研修(タスク)で構成される20時間のコースです。ABBYY Basicトレーニングでは、ABBYY FlexiCapture 12 コンサルタント認定を取得するための知識が得られます。

対象 データ抽出や文書処理に関わるシステム管理者、開発者、コンサルタントなど。

学習目的 トレーニングでは、ABBYY FlexiCaptureとABBYY FlexiLayout Studioに関する以下の基礎知識を学習します。

- 固定文書を処理するための文書定義の作成
- 複数ページ文書の境界を認識する文書定義の作成
- 表データの特定と抽出
- 項目位置の関係性を用いたデータの特定と抽出
- データを自動で特定・抽出するためのトレーニング

認定試験 トレーニング後に認定試験を受けることで、ABBYY FlexiCapture 12 コンサルタント認定を取得できます。

時間 4日間 12:30より18:00 (約30分の休憩を含む)、または 3日間 10:00より18:00 (約60分の休憩を含む)

* トレーニング日数が3日間の場合でも、総時間数は4日間の場合と同じであり、同様の内容を3日間で行います。

ご用意いただくもの

- デュアルコアCPUのパソコン
- インターネットおよびブラウザへのアクセス
- スピーカー/マイク

* インターネットがつながるPCから受講して頂く形となります。ZoomとVMへアクセスが必要となりますが、1週間前を目途に受講のための情報をメールにてお知らせいたします。
* 講義用の資料はPDFで配布され、そのままお持ち帰りいただけます。

トレーニングについて 講義やタスクの順番を調整することがあります。ご了承下さい。

トレーニング日程 (4日間)

DAY 1

- コース概要
- 文書処理について
- FlexiCaptureシステム概要
 - 処理ステージ
 - アーキテクチャ
 - ライセンス
 - オペレーター権限とロール
- FlexiCaptureの利用
 - FlexiCaptureワークフローの設定
 - バッチタイプ
 - スキャンステーション
 - 検証ステーション

DAY 2

- プロジェクト設定ステーション
 - 固定帳票の設定手順
 - 文書定義の作成
- 抽出データの品質改善
 - 評価とルール
 - 認識品質の改善

DAY 3

- 固定帳票に対する文書定義の作成
 - 複数ページの設定
 - フィールド抽出トレーニング
- 可変帳票における文書レイアウト作成 (FlexiLayout Studio)
 - ユーザーインターフェース
 - 準構造化レイアウトの作成
 - レイアウトの作成手順
 - 領域の検索

DAY 4

- 可変帳票における文書レイアウト作成 (続き)
 - 要素の種類
 - 表の抽出
- 可変帳票における複数ページの設定
- FlexiCapture試験についてのご案内
- まとめとQ&A